



4月に当選した市議会議員14名

後列 左から 沖園議員, 下竹議員, 城森議員, 瀬占議員, 豊留議員, 清水議員, 立石議員
 前列 左から 眞茅議員, 永野議員, 吉松副議長, 中原議長, 吉嶺議員, 東議員, 上迫議員

主な記事 contents

■ 委員会審査の概要	1 P
■ 議案と結果	5 P
■ 一般質問	7 P
■ 議長就任あいさつ	11P
■ 正副議長、委員会構成	11P
■ 編集後記	11P

発行●枕崎市議会

編集●枕崎市議会報調査特別委員会
 〒898-8501 枕崎市千代田町27番地
 TEL.0993-72-1111

平成31年度一般会計予算など、全予算案を可決

平成31年第1回定例会

平成31年第1回定例会は、平成31年3月1日から26日までの26日間の会期で開かれました。

この定例会では、平成31年度一般会計予算など予算関係議案13件、条例の改正12件のほか、人事案件などについて審査を行い、3月4日・5日の本会議では、7名の議員が一般質問を行いました。

委員会審査の概要

総務文教委員会

○議案第13号

枕崎市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本件は、国家公務員に準じて時間外勤務命令の上限の設定等の措置を講じるため、所要の改正をしようとするものです。

問 他律的業務の範囲について

答 業務の量や時期が任命権者の枠を超えて他律的に決まる比重が

概要

高い部署については、任命権者はあらかじめ指定しておくことが望ましいと考えられています。なお、部署の範囲を指定した場合の職員への周知方法として、書面やメール、庁内の掲示板への掲載により、職員みずからが時間外勤務命令の上限がわかるように行う方法が必要と考えています。

○議案第14号

消費税法等の一部改正等に伴う使用料関係条例の改正に関する条例の制定について

本件は、消費税法等の一部改正等に伴い、使用料関係条例について、使用料等の額を改定するほか、所要の条文の整備をしようとするものです。

問 道路占用料にかか

答 道路占用料徴収条例では1カ月に満たないものだけに消費税を加算し、長期にわたるものは消費税を加算しない。なお、消費税が8%から10%になることによる10月以降の影響額は、10000円に満たない。

○議案第24号

公の施設の指定管理者の指定について

本件は、枕崎ヘリポートの指定管理者を指定することについて、地方自治法第244条の2第6項の規定に基づき、議会の議決を得ようとするものです。

問 ヘリポートの利用状況について

答 ヘリポートについては、防災ヘリの離発着がほとんどである。

産業厚生委員会

○議案第15号

枕崎市地域福祉基金条例の一部を改正する条例の制定について

本件は、本市の地域福祉のさらなる充実を図るため、枕崎市地域福祉基金の活用範囲を広げようとするものです。

問 活用範囲を広げた理由は。

答 高齢化の進行はもちろん、近年は少子化対策や障害者対策も喫緊の課題として国も強

化している情勢を踏まえ、児童福祉や障害福祉の分野にも活用したい。

○議案第16号

枕崎市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

本件は、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、これに準じ所要の改正をしようとするものです。

○議案第17号

枕崎市ひとり親家庭等医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について

本件は、所得税法の一部改正に伴い、条文の整理をしようとするものです。

○議案第18号

枕崎市地域包括支援センターの職員に係る基準及び職員の員数等を定める条例の一部を改正する条例の制定について

本件は、介護保険法施行規則の一部改正に伴い、所要の改正をしようとするものです。

本件は、県内の多くの市が県の道路占用料に準じている状況を考慮し、今回も県と同額に改定するほか、条文の整備をしようとするものです。

問 道路占用料改定に伴う平成31年度の影響額は。

答 37万9000円減額になる。

○議案第19号

枕崎市介護給付費準備基金設置条例の一部を改正する条例の制定について

本件は、本市の介護給付費準備基金について、高齢者の自立支援・重度化防止等に関する取り組みに活用できるように、所要の改正をしようとするものです。

○議案第21号

枕崎市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について

本件は、道路占用料の見直しに伴い、道路占用料徴収条例に準じて、公園を占用する場合の料金を改定しようとするものです。平成31年度の影響額は3000円程度減額になるということです。

○議案第20号

枕崎市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第22号

枕崎市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本件は、災害弔慰金の支給等に関する法律の一部改正に伴い、災害援護資金の貸付利率を引き下げるほか、所要の改正をしようとするものです。

○議案第23号

枕崎市水道事業に係る布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本件は、学校教育法の一部を改正する法律に伴い、専門職大学及び専門職短期大学の制度が設けられたことから、水道法施行令の一部が改正され、本条例の資格要件に専門職大学の前期課程を修了した者は、短期大学の学科修了とみなす旨を追加するものです。また、技術士法施行規則の一部を改正する

規則の一部を改正する

予算特別委員会

省令に伴い、水道法施行規則の一部が改正されたことから、本条例の資格要件から水道環境を削除するものです。

○議案第25号～第39号

市道の廃止について

本件は、過去に農政事業の県営特殊農地保全整備事業山口地区で整備した耕地整理地区内の市道認定している道路の中で、再び農政事業の県営農地整備事業で舗装等を行う15路線、総延長4501メートルについて市道の廃止をしようとするものです。

県営農地整備事業による舗装整備を行う場合、事業を実施する路線は市道を廃止して、農道として管理しなければならぬので、この事業については平成26年度の事業開始から29年度末までの進捗率は約63%で、32年度までの計画とのこと。

の計画とのこと。

予算特別委員会

■予算特別委員会の審査の詳細については、ホームページに予算特別委員会記録を掲載していますので、ごらんください。

○議案第1号

平成30年度枕崎市一般会計補正予算(第7号)

今回の補正は、歳入歳出それぞれ9360万円を追加し、予算総額を121億7440万円にしようとするもので、当初予算額より19.7%の伸びとなります。

補正予算の主なものは、国民健康保険特別会計繰出金、施設型給付費、市立病院負担金、

・委員からの意見等
商店等新規出店支援

事業、「枕崎駅」から始まる街づくり事業の2つの補助事業があるが、ほかの事業もあつたら探して、ロータリー側を活性化してほしい。

○議案第2号

平成30年度枕崎市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

今回の補正は、歳入歳出それぞれ6629万5000円を追加し、予算総額を38億3348万3000円にしようとするもので、当初予算より3.9%の伸びとなります。

補正の内容は、市立病院の機器整備に対する繰出金229万5000円の増、基金積立金6400万円の増です。

・委員からの意見等
・前期高齢者にかかわる人数ももちろんだが、その国保に占める金額も十数億と非常に大きい。それだけに前期高

年齢交付金について、しっかりとした対応、処理をしてもらわないと国保全体に及ぼす影響が大きい。前期高齢者については、しっかりとした取り組みをしていただきたい。

○議案第3号

平成30年度枕崎市介護保険特別会計補正予算(第3号)

今回の補正は、歳入歳出それぞれ140万5000円を減額し、予算総額を27億8585万9000円にしようとするもので、当初予算額より約5・7%の伸びとなります。

補正の内容は、南薩介護保険事務組合負担金474万2000円及び介護予防サービス計画給付費100万円の減と高額介護サービス費100万円及び介護給付費準備基金積立金333万7000円の増をしようとするものです。

○議案第4号

平成30年度枕崎市公営下水道事業特別会計補正予算(第4号)

今回の補正は、歳入歳出それぞれ578万円を追加し、総額を8億6715万2000円にしようとするもので、当初予算額に対し6・3%の増となります。

補正の内容は、公営企業会計適用費の業務委託の執行に伴う委託料の減、処理施設管理費の汚泥処理及び汚泥運搬業務委託料の増、補助管渠工事完了に伴う下水道整備費の工事請負費の減です。

■委員からの意見等

・公営企業会計適用に当たっては、それまでに、各年度で具体的にどのような調査を実施するのか把握してほしい。

○議案第5号

平成30年度枕崎市立病院事業会計補正予算(第5号)

今回の補正は、業務の予定量において、年間患者数及び1日平均患者数を補正し、収益的収入において、入院収益の減、外来収益及び負担金の増に伴い、医業収益を550万3000円の減、負担金の増に伴い、医業外収益を4116万8000円追加するほか、補助金の増に伴い、附帯事業収益を9万1000円追加し、収益的支出において、給与費及び経費の減に伴い、医業費用を4389万円減額しようとするものです。

資本的収入及び支出においては、負担金等の増に伴い、収入を878万1000円追加し、建設改良費の減に伴い、支出を1529万8000円減額しようとするもので、補正

後の収支は、収入878万1000円に対し、支出が4354万4000円となり、収入額が支出額に対して不足する額3476万3000円については、過年度分損益勘定留保資金並びに当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補填しようとするものです。

○議案第6号

平成31年度枕崎市一般会計予算

予算の規模は、117億9200万円で、前年度との比較については、肉付け後の実質的な当初予算である6月補正予算後の予算と比較して5億2100万円の増、率にして4・6%の増となります。

■委員からの意見等

・鹿大とのプロジェクトによる高血圧対策事業について、連携しながら改善していくことは非常にすばらしいこ

とだと思つ。血液は人間の一番根幹のもので、本市は関連する病が多いという問題があるのだ、予防医学や食事面など総合的な面から取り組んでほしい。

・JR指宿枕崎線利用促進事業として、子供たちに対するJR指宿枕崎線利用の補助事業ができたが、次は市民がいかに利用するかという問題になると思つので、そういうことによつて乗車客をふやすことが大事だと思つ。

・市が把握している鳥獣被害については、生産者から見れば非常に被害額も少ないと思つ。調査については農協と協力して、また生産者にもちゃんと届け出を出すよう周知方をお願いしたい。

・潟山団地建替事業の外構工事については、単費で対応すると簡単に言うが、せつかくの補助対象事業であるので、可能であれば極力、補助金を活用して遂行

する努力をすべきである。

・使用期間が限定されている学校のプールをどうやって全市的にい形で設置するかを検討して、コスト削減につながるのかどうかも含めて長寿命化計画に期待したい。

○議案第7号

平成31年度枕崎市国民健康保険特別会計予算

予算総額は35億8298万5000円で、前年度当初予算と比較して1億543万6000円、2・9%の減となります。

■委員からの意見等

・特定健診の受診率向上については、平成23年から取り組んでおり、一つの報告書ができ、上がっている。今後、これを参考にではないが、まだまだ取り組んでいける余地があるのではないかと思つている。

○議案第8号

平成31年度枕崎市後期高齢者医療特別会計予算

予算総額は、3億2918万7000円で、前年度当初予算と比較して、314万8000円、1・0%の増となります。

なります。

■委員からの意見等

・汚泥の処理の仕方等は、単に厄介者をどうしようかというのではなく、前向きに取り組んでほしい。
・下水道料金を上げたとしてもこれ以上上げられないような状況にある。汚泥処理量を減らし、方向性を探ることが一番大事ではないかと思う。

○議案第9号

平成31年度枕崎市介護保険特別会計予算

予算総額は、26億9004万8000円で、前年度当初予算より約2・1%、5559万3000円の増となります。

○議案第11号

平成31年度枕崎市立病院事業会計予算

業務の予定量については、病床数55床、年間患者数を入院で1万7934人、外来で1万4421人、1日平均患者数を入院で49人、外来で57人と定めました。

の合計5億9966万6000円で、前年度より1720万6000円の減、収益的支出は、医療費用7億1028万7000円、医療外費用1131万円、附帯事業費用1010万1000円の合計7億3169万8000円で、前年度より25万9000円の減となり、収支差引1億3203万2000円の当年度純損失となる見込みです。

○議案第12号

平成31年度枕崎市水道事業会計予算

業務の予定量については、給水戸数を1万400戸、年間総給水量を274万立方メートル、1日平均給水量を7507立方メートルと予定しており、前年度当初予算予定量と比較すると給水戸数で100戸、率にして1・0%の減、年間総給水量で1万5000立方メートル、率にして0・5%の減、1日平均給水量で41立方メ

留保資金並びに当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補填しようとするものです。
■委員からの意見等
・病院の改革プランについては、新たな要因を含んだ見直しで出さないと、計画を作成した当初と状況、要因が違つので、見直しを早急にしてほしい。

ートルの減となります。収益的収入及び支出の予定額は、水道事業収益を4億4900万円、水道事業費用を4億2446万2000円とし、差引き2453万8000円で、税抜き後の純利益は966万8000円を予定しており、前年度当初予算より、165万円の増となります。

化に伴い、限界集落において、簡易水道の管理が十分になるかもしれないことから、少々費用がかかっても市の水道に一本化して供給できる体制づくりを計画に入れてほしい。

○議案第44号

専決処分の承認を求めらるる

本件は、ふるさと応援寄附金の増額見込みに伴い、返礼品経費に不足が生じる見込みとなることから補正を行う必要があるとのことです。

○議案第46号

平成30年度枕崎市一般会計補正予算(第8号)

本件は、ふるさと応援寄附金の額の増加に伴い、歳入歳出それぞれ4650万円を追加し、予算総額を122億2090万円にしようとするものです。

○議案第10号
平成31年度枕崎市公共下水道事業特別会計予算

予算総額は、9億2715万1000円で、前年度当初予算より1億1147万7000円増、13・7%の増と

収益的収入については、医療収益5億1450万6000円、医療外収益7546万4000円、附帯事業収益969万6000円

合計5547万円を予定し、収入額が支出額に対して不足する額4657万円については、過年度分損益勘定

平均給水量で41立方メ

・将来、高齢化や過疎

議案と結果

■ ■ ■ 平成31年第1回定例会 ■ ■ ■

(全会一致で議決された案件)

番 号	議 案 名 等	議決結果
議案第1号	平成30年度枕崎市一般会計補正予算（第7号）	可決
議案第2号	平成30年度枕崎市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第3号	平成30年度枕崎市介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第4号	平成30年度枕崎市公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）	可決
議案第5号	平成30年度枕崎市立病院事業会計補正予算（第3号）	可決
議案第14号	消費税法等の一部改正等に伴う使用料関係条例の改正に関する条例の制定について	可決
議案第15号	枕崎市地域福祉基金条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第16号	枕崎市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第17号	枕崎市ひとり親家庭等医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第18号	枕崎市地域包括支援センターの職員に係る基準及び職員の員数等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第19号	枕崎市介護給付費準備基金設置条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第20号	枕崎市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第21号	枕崎市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第22号	枕崎市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第23号	枕崎市水道事業に係る布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第24号	公の施設の指定管理者の指定について	可決
議案第25号 ～第39号	市道の廃止について	可決

議案と結果

平成31年第1回定例会

(全会一致で議決された案件)

番号	議案名等	議決結果
議案第40号	教育長の任命について	同意
議案第42号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意
議案第43号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意
議案第44号	専決処分承認を求めることについて	承認
議案第45号	枕崎市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第46号	平成30年度枕崎市一般会計補正予算(第8号)	可決

(賛否が分かれた案件) ※賛成は○、反対は●、欠席は欠、除斥は除、退席は退、一は議長のため表決していない。

番号	議案名等	議決結果	議員名(議席順)															
			新屋敷幸隆	永野慶一郎	吉嶺周作	城森史明	吉松幸夫	俵積田義信	清水和弘	禰占通男	沖園強	茅野勲	下竹芳郎	豊留榮子	立石幸徳	中原重信		
議案第6号	平成31年度枕崎市一般会計予算	可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
議案第7号	平成31年度枕崎市国民健康保険特別会計予算	可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
議案第8号	平成31年度枕崎市後期高齢者医療特別会計予算	可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
議案第9号	平成31年度枕崎市介護保険特別会計予算	可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
議案第10号	平成31年度枕崎市公共下水道事業特別会計予算	可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
議案第11号	平成31年度枕崎市立病院事業会計予算	可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
議案第12号	平成31年度枕崎市水道事業会計予算	可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
議案第13号	枕崎市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
議案第41号	監査委員の選任について	同意	—	無記名投票(賛成12票、反対1票)														

高い国保税の引き下げについて



豊留 榮 議員

問 高過ぎる国保税に住民は苦しんでいる。国保税の引き下げこそが必要ではないか。

答 新制度に移行し、税率改定を実施した後、国保財政は厳しい状況が続いている。本市の厳しい国保財政や一般会計からの繰り入れを計画的に解消することから、現状では極めて困難である。

問 保険証は命の綱、短期保険証では病院に行きにくいという。短期保険証を発行するのではなく、保険証はそのまま利用できるように保険税を納める相談に乗ることはできないのか。

答 短期保険証の発行基準があり、滞納をし

ている方々と定期的に面談して納付を促し、納付が可能な分納計画を立て、しっかりとそれを守っていただくこととしている。生活状況を踏まえながら、相談に乗っている。

問 国保が、他の医療保険より保険税が高くなる要因の一つに、均等割がある。均等割が家族数の多い世帯や子育て世帯を苦しめている。均等割を廃止すべきではないか。

答 子供に対する均等割を廃止する場合、基盤安定制度において法定部分は財源措置があるが、市町村独自の軽減措置に対する財源措置はないため、均等割廃止による減額相当分が財源不足となると考えられる。

問 岩手県宮古市が子供の均等割を免除する予算案を出した。対象はゼロ歳児から高校3年生18歳まで。財源は一般会計からの繰り入れで、ふるさと納税の

中から、市長のお任せ分を充てるといふ。このような自治体独自の負担軽減が必要ではないか。

答 本市国保の厳しい財政状況や法定外繰り入れを計画的に解消していくという考えから、極めて困難である。



その他質問事項

- ・児童虐待について
- ・通学路の安全対策
- ・市営墓地に納骨堂を

新年度の地方財政対策について



徳 幸 議員
立 石 幸 議員

問 新年度の地方財政対策における地方サイ

答 地方の一般財源総額について、平成30年度地方財政計画水準を確保することを基本に、対前年度比1%の増となっている。地方譲与税として森林環境譲与税が創設される。

問 森林環境譲与税が創設されるが、本市の新年度予算には計上されていない。その理由

はなぜか。

答 森林環境譲与税は300万円ほどの歳入を見込んでいるが、充てるべき歳出予算が流動的で当初予算では計上していない。

消費税率引き上げについて

問 10月からの消費税率引き上げに伴うプレミアム商品券の内容はどのようなものか。

答 事業の概要は、プレミアム付商品券として2万5000円を2万円で購入する。住民税非課税の方及び本年6月1日現在で、3歳未満の子供が属する世帯主が対象となる。

(注：その後、子供については、本年9月末時点で3歳半までの子供に拡大されています。)

問 新年度の下水道事業当初予算は、事業収

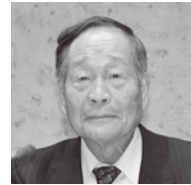
入が2億7110万円で、一般会計からの繰入金金は約3億300万円。事業収入より繰入金が多い状態であり、自前の収入で事業運営しているとは言えない。どうやって立て直しをするのか。

答 下水汚泥の減量化を考えると使用料で維持管理費を賄えない状況である。本年10月には消費税率が引き上げられることや、32年度には下水道事業が、特別会計から企業会計へ移行する。現在、移行に向けて取り組みをする中で、財務状況及び経営状況が明らかになってくるので、31年度、使用料単価の見直しを検討し、下水道使用料改定は他市の状況も踏まえつつ適正に対応していく。

下水道事業立て直しについて

入が2億7110万円で、一般会計からの繰入金金は約3億300万円。事業収入より繰入金が多い状態であり、自前の収入で事業運営しているとは言えない。どうやって立て直しをするのか。

今後枕崎が維持発展するために



信 義 積 田 議員

問 市長は公約に、行政改革、人口減少問題、産業力の強化等を掲げて1年がたち、市政に奔走しているが、公約実現の手応えを感じているのか。

答 私自身の行政運営が市民の皆さんの心に火をつけられるかは、私自身の行動に答えはある。市民との直接の対話の機会が感じさせてくれている。行財政改革については、就任当初から5Sにこだわりの、事あるごとに職員にその大切さを伝えてきている。5Sを実行できれば業務の整理整頓が進み、コスト意識、コスト削減につながる。2年目は5SにプラスしてスピードのSを加

えて仕事の質を高めていきたい。積極的に新たなことにチャレンジする職員も確実におり、その点では手応えを感じている。それを全職員に広げていくことがこれからの課題である。

問 昨年、国立社会保険・人口問題研究所が発表した2045年の市町村別将来推計人口によると、本市の人口は約半減の1万1612人となり高齢化率も50%を超えるとされているが、厳しい現実に沿った対策や施策をどのように考えているのか。

答 人口減少に対しては、移住者を入れる、人を呼び込む施策、枕崎の定住者を流出させない、定着を進めるといった施策、両方面あると思う。新年度から、ふるさと納税の活用等で、新しい施策を積極的にやっていきたい。

問 カツオ漁業は本市の基幹産業であるが、現在、イワシ、サバ、

ニシン、マグロ、ウナギ等の資源が枯渇していくというところで危機感もある。カツオの資源の調査や予測はされているのか。

答 カツオの資源については、国際機関である地域漁業管理機関(RFMO)で管理されており、その中で中西部太平洋におけるカツオについては、中西部太平洋まぐろ類委員会(WCPFC)で管理されている。親魚資源量が2014年資源評価の約326万トンに対し、2016年は約420万トンと約1・3倍に増加しており、資源状態は改善している。

その他質問事項

- ・カンシヨの病害対策について
- ・食品ロスについて

枕崎市行政改革大綱の進捗状況について



弘 和 清 水 議員

問 市民の満足するよう行政サービスの提供や市民の立場に立った行政運営がなされてきたのか。

答 庁内の整理・整頓・清潔・清掃・しつけを徹底することでコスト削減、業務の整頓を進め、限られた資源を有効に使う工夫で仕事の仕方を変革し、困難と思われる課題に積極的に取り組んでいきたいと考えている。

問 農政課職員においては、裁判で控訴棄却された問題について、反省の言葉は聞かれな。担当課職員を初め、再発防止にどのような指導をしたのか。

答 裁判に至った発端は、裁判で争った土地について、市が分筆登記、所有権移転登記を行っていなかった。現在は、事前に戸籍調査などを含めた用地調査を行い、未登記が生じないよう指導している。

問 土地の所有権移転登記をしなかった理由について

答 平成5年当時は、災害などが発生し業務が集中していた。登記を怠ったのは市の責任であったと考えている。

問 市立図書館の指定管理者制度導入前後の財政効果、利用者サービスや運営状況について

答 平成29年までの5年間の財政効果は約9700万円、利用者は大幅に増加、平成30年度県図書館大会で子ども読書推進優良図書館として県内で唯一表彰された。

問 図書館3階の歴史資料室への案内板設置について

答 案内看板も含め利便性向上を図るため、図書館のリニューアルに向けた委託設計にしたいと考えている。



答 行政の課題、案件について内容によっては必要かと思う。

問 行政で解決できない問題が発生した場合、外部の有識者で構成する第三者委員会を設置し、解決する考えはないか。

部活動のあり方について



永野慶一郎 議員

問 働き方改革が叫ばれる今、教職員の長時間労働も問題視されているが、部活動へのかわりは現在どうなっているのか。

答 運動部活動の適正化に取り組んでおり、合理的でかつ効果的、効率的な活動の実現に向けた体制が整備されてきており、全部活動において複数顧問制を取り入れるなど、業務の軽減に向けて改善を図っている。

問 働き方改革が叫ばれる今、教職員の長時間労働も問題視されているが、部活動へのかわりは現在どうなっているのか。

答 運動部活動の適正化に取り組んでおり、合理的でかつ効果的、効率的な活動の実現に向けた体制が整備されてきており、全部活動において複数顧問制を取り入れるなど、業務の軽減に向けて改善を図っている。

問 市外の学校と合同チームを編成した際、合同練習もままならない、練習場所まで片道四、五十分かけて子供たちを送迎するのも責任重大だという保護者の声を聞くが、市内の学校で合同チームを編成するべきではないのか。

答 合同チームは、子供たちの意思を酌んでできるだけ大会に出場させようという学校での取り組みである。部活動については、学校と連携し、助言しながら取り組んでいきたい。

広域での観光周遊ルートの確立について

問 指宿市開聞町の長崎鼻や西大山駅、南九州市穎娃町の番所鼻公園はいつも観光客でにぎわっているが、枕崎まで足を伸ばしてもらえそうな南薩をめぐる観光周遊ルートの計画はないのか。

答 現在の観光は、これまでの貸切バスを利用した大人数の観光やレンタカーなどを利用した少人数での個人型観光へと多様化しており、そのニーズに応えられるよう、近隣自治体と連携し、それぞれの特徴を広域エリアとしてPRすることで、観光客誘致を推進していきたい。



議会を傍聴してみませんか

本会議及び委員会は、原則として一般に公開されており、どなたでも傍聴することが可能です。

議会では、市の予算・決算、条例制定をはじめ、皆さんの生活に関わりのあることが議論されています。

また、ご自身が選ばれた議員が、どのような活動をしているのかを目の前で見る事ができるなど、市議会活動に触れる最も身近な方法です。

都合が合わず、なかなか会議を傍聴することが難しい方は、インターネットで本会議の映像を配信しますので、ぜひご視聴ください。

傍聴の手続き

傍聴を希望される方は、3階入り口に置いてある傍聴券に記入し、箱に投函してから入場してください。

市のホームページからアクセスできます

市のホームページの「議会インターネット中継」のページにアクセスしていただき、注意及び免責事項をご確認後、ご視聴ください。

生中継及び録画映像

現在、枕崎市議会では「Youtube」で本会議を生中継を配信し、録画映像も配信しています。
※生中継は、本会議中のみ配信されます。

最新のアップロード状況を掲載しています。こちらから直接アクセスできます。



議長就任のあいさつ

枕崎市議会 議長 中原 重信

議長就任にあたり、市民の皆様一言御挨拶を申し上げます。

この度、議員の皆様方の御支持をいただき、市議会議長に就任いたしました。身に余る光栄と感謝いたしますとともに、責任の重さを痛感しているところでございます。議長として全力を傾け、公正中立かつ円滑な議会運営に取り組んでまいります。

枕崎市議会では、平成26年6月に枕崎市議会基本条例を制定いたしました。この条例では議会が担う役割を常に自覚し、議員の活動原則を定めております。これまで市民、団体等との意見交換会、議会インターネット中継、議会だよりの充実など積極的な情報公開に努めております。まだまだ課題はありますが、市民の皆様親しみやすく、信頼される議会づくりを進めてまいります。

本市の現状を見ますと、少子高齢化などによる人口減少に歯止めがかからず、地方交付税の減少など非常に厳しい財政運営が続いており、さらなる行財政改革を進めていかなければなりません。議会と執行機関との真摯な議論により、これら市政の諸課題に有効な政策を推進していかなければなりません。

私は議長として、安全・安心かつ活力ある枕崎の実現に向け、市議会が持てる力を十分に発揮できるように全力を尽くしてまいります。決意であります。市民の皆様、議員各位のより一層の御理解・御協力を賜りますようよろしくお願い致します。

第2回臨時会が、5

月13日に開催され、正

副議長選挙や常任委員

会委員などの選任を行

いました。

また、一般会計補正

予算(第1号)、条例

の改正1件、その他1

件、専決処分承認2

件について本会議にお

いて審議を行い、可

決・承認されました。

正副議長は、次のと

おりです。

各常任委員会等の構

成は次のとおりです。

(◎印は委員長、○印

は副委員長)

◇総務文教委員会

◎永野 慶一郎

○豊留 榮子

○中 原 重 信

○立 石 幸 徳

○沖 園 幸 強

○上 迫 正 幸

○東 君 子

○吉 嶺 周 作

○下 竹 芳 郎

○禰 占 通 男

○吉 松 幸 夫

○禰 占 通 男

○下 竹 芳 郎

○禰 占 通 男

○吉 松 幸 夫

○禰 占 通 男

○下 竹 芳 郎

○禰 占 通 男

○吉 松 幸 夫

○禰 占 通 男

○下 竹 芳 郎

○禰 占 通 男

○吉 松 幸 夫

○禰 占 通 男

○下 竹 芳 郎

○禰 占 通 男

○吉 松 幸 夫

○禰 占 通 男

○下 竹 芳 郎

◇議会運営委員会

◎沖 園 榮 子

◎豊 留 榮 子

◎永 野 慶 一

◎清 水 和 弘

◎下 竹 芳 郎

◎吉 松 幸 夫

◎禰 占 通 男

◎下 竹 芳 郎

◎吉 松 幸 夫

◎禰 占 通 男

◎下 竹 芳 郎

◇議会報調査特別委員会

◎眞 茅 弘 美

○東 君 子

○禰 占 通 男

○上 迫 正 幸

○城 森 史 明

○永 野 慶 一

○立 石 幸 徳

○中 原 重 信

○上 迫 正 幸

○立 石 幸 徳

○中 原 重 信

○上 迫 正 幸

○立 石 幸 徳

○中 原 重 信

○上 迫 正 幸

○立 石 幸 徳

○中 原 重 信

○上 迫 正 幸

○立 石 幸 徳

○中 原 重 信

○上 迫 正 幸

○立 石 幸 徳

○中 原 重 信

○上 迫 正 幸

○立 石 幸 徳

○中 原 重 信

○上 迫 正 幸

○立 石 幸 徳

○中 原 重 信

○上 迫 正 幸

○立 石 幸 徳

○中 原 重 信

○上 迫 正 幸

○立 石 幸 徳

○中 原 重 信



編集後記

元号も「令和」に変わり新しい時代が始まりましたが、私も枕崎市議会も新たに3名の議員が加わり新体制でスタートを切ることになりました。

国内では幼い子供が犠牲になる事件が問題となっており、事件や事故が起きる前に家庭はもちろんなこと、社会全体での見守りが重要になると考えます。

本市におきましても少子高齢化対策や早急に取り組まなければならない課題が多々あるかと思いますが、議員一丸となって令和の新しい風とともに歩を進めてまいります。

(眞茅弘美)

議会報調査特別委員会

委員長 眞茅弘美

副委員長 東 君子

委員 禰占通男

委員 上迫正幸

委員 城森史明

委員 永野慶一郎